

城下町の名物



伝統の方法を守る 体験  
藍染め工場  
古庄染工場

古くから藍の栽培が盛んに行われ、藍染めの本場として知られる徳島。自然の材料のみで藍液(染め液)を作る「天然灰汁発酵だて」を守り続ける同工場では見学と藍染め体験ができる。

- ◆徳島市佐古7番町9-12 ☎088-622-3028
- ◆営業時間/9:30~15:00
- ◆休業日/日曜、祝休日、お盆期間
- ※体験のメニュー、料金などは要問い合わせ

注目スポット



徳島は全国有数の 学び 体験  
人形浄瑠璃の国  
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

人形浄瑠璃「傾城阿波の鳴門」のモデルとなった板東十郎兵衛の屋敷跡で、同作品が毎日上演される。展示室には、阿波木偶や舞台道具が並ぶほか、人形を遊ぶ体験ができる。

- ◆徳島市川内町宮島本浦184 ☎088-665-2202 ◆開館時間/9:30~17:00 (7月、8月は18:00まで) ※定期上演は11:00、14:00
- ◆休館日/12月31日~1月3日
- ◆入館料/大人410円、高・大生310円、小・中生200円

徳島城博物館から本丸のあった城山山頂までは歩いて10分ほど。登り口にはつえも置いてあるので、本丸を守った堅牢な石垣を見るためにぜひ登ろう。



眉山   
【びざん】

山頂からは、徳島市街地はもとより、天気良ければ遠く淡路島まで見渡すことができる。阿波おどり会館の5階が眉山ロープウェイの山麓駅になっており、約6分で山頂に到着。山頂駅展望台にはLED万華鏡も設置されている。

- 眉山ロープウェイ山麓駅
- ◆徳島市新町橋2-20(阿波おどり会館5階) ☎088-652-3617
- ◆営業時間/9:00~21:00(11月~3月は17:30まで)
- ※8月12日~15日は22:00まで ◆休業日/無休
- ◆料金/大人620円(片道)・1,030円(往復)、小学生300円(片道)・510円(往復)



約5分

グルメ



徳島のソウルフード「豆天玉焼き」は甘く煮た金時豆、水で溶いた小麦粉を揚げた「天ぷら」、卵が入ったお好み焼き。食べられる店など最新情報はウェブサイト「とくしま豆天玉.com」でチェックしよう。  
◆とくしま豆天玉連事務局 ☎088-666-1664



徒歩すぐ



阿波おどり会館   
【あわおどにかいかん】

専属連が1年中公演。古風から現代の踊りまで、時代の変遷とともに変化してきた踊りを楽しめる。毎日20時から日替わりで有名連が出演。各公演の最後には観客と一緒に踊る体験コーナーもある。

- ◆徳島市新町橋2-20 ☎088-611-1611
- ◆公演時間/屋のおどり:11:00、14:00、15:00、16:00、夜のおどり:20:00 ◆休演日/6月・10月・2月の第2水曜、12月28日~1月1日
- ◆料金/大人800円(夜のおどりは1,000円)、小・中生400円(夜のおどりは500円)

館内には阿波おどりの歴史と魅力を紹介する「阿波おどりミュージアム」も併設されています(別途料金が必要)。起源は諸説ありますが、地元の盆踊りがそもそもの始まりという説が有力。有名連ごとに違うお囃子を聞き比べるのも一興です。



ツーリズム徳島代表理事 黒田忠良さん

約5分

和田乃屋本店   
【わだのやほんてん】

看板商品「滝の焼餅」は藩主の御用菓子として名声を博した銘菓。藩主愛飲の湧き水「錦龍水」を今も使用し、400年の時を経て変わらぬ味は「とくしま市民遺産」に選ばれている。眉山の麓、大滝山の登山口に位置する本店では、焼きたてが味わえる。下棟の建物は国登録有形文化財。

- ◆徳島市眉山町大滝山5-3 ☎088-652-8414
- ◆営業時間/10:00~17:00 ◆休業日/木曜

約10分



新町川・阿波製紙水際公園   
【しんまちがわ・あわせいしみずぎわこうえん】

「阿波の青石」を御影石と組み合わせた階段状のテラスやせせらぎのある池、数々のモニュメントなどが整備された憩いの水辺空間。夜はLEDの光に彩られ、違った表情を見せる。

- ◆徳島市南内町(新町川沿い) ☎088-621-5295(徳島市公園緑地課)

徳島 徳島県徳島市  
天然の堀に守られた  
風格ある城跡や  
寺町に往時をしのぶ

徳島 徳島県徳島市

歴史

室町時代に細川頼之が現在の地に小城を築き、城山を滑山と名付けたとされる。戦国時代はしばしば城主が入れ替わったが、1582年に長宗我部元親が阿波を平定。3年後、羽柴秀吉の四国征伐に功績のあった蜂須賀家政が阿波国を与えられ、大規模な平山城を築造。

START

城FILE ④

徳島城

構造 平山城  
築城者 蜂須賀家政  
築城年 1586年  
遺構 石垣、堀、庭園  
徳島市徳島町城内  
◆アクセス/  
徳島自動車道「徳島」  
ICから約15分



復元された鷲の門

ゆかりの武将

蜂須賀家政 1558年~1638年  
尾張国の蜂須賀正勝(小六)の嫡男として生まれる。父と共に羽柴秀吉に仕え、1585年の四国征伐の後、阿波国を与えられる。阿波入国の翌年に徳島城を築城し、城下町を整備。



徳島中央公園内には蜂須賀家政の像も



徳島市立徳島城博物館・旧徳島城表御殿庭園   
【とくしましりつとくしまじょうはくぶつかん・きゅうとくしまじょうおもてごてんいえん】

徳島藩に関する歴史資料と美術品を展示しており、日本に現存する最古の和船「徳島藩御召船 千山丸」は必見。ガラス張りのラウンジからも見える庭園は、茶人武将として知られる上田宗箇の築庭とされ、枯山水と築山泉水庭から成る。

- ◆徳島市徳島町城内1-8(徳島中央公園内) ☎088-656-2525
- ◆開館時間/9:30~17:00 ◆休館日/月曜(祝休日の場合は開館)、祝休日の翌日(日曜・祝休日の場合は開館)、12月28日~1月2日
- ◆入館料/大人300円、高・大生200円、中学生以下は無料 ※旧徳島城表御殿庭園の入園料を含む ※特別展の観覧料は別に定める

徳島の市街地には、「ひょうたん島」と呼ばれる周囲約6キロの中州がある。その中心に位置する標高約62メートルの城山。現在は徳島中央公園として整備されているその場所に、蜂須賀家の居城、徳島城が立っていた。南は寺島川(現在は廃河川)、北は助任川、さらに2キロほど離れて北には広大な吉野川。街を流れる河川が巨大な堀の役目を果たしていた。現存するのは石垣と堀、整備された表御殿庭園のみだが、その風格は藩主の居城だったいにしへの姿をほうふつさせる。大手門跡の石垣には権威を表す巨石が用いられ、庭園内の枯山水には「阿波の青石」といわれる緑泥片岩が豪壮かつ繊細に配置されている。中でも全長10・5メートルの自然石をそのまま生かした石橋は圧巻。光の加減で空色に映る橋は途中で割れており、初代藩主、蜂須賀至鎮がじだんだを踏んだから、という伝説が残っている。

庭園に隣接する徳島城博物館で徳島藩にまつわる文化財や歴史資料を観覧し、蜂須賀家の墓所が点在する眉山へ。山頂からの景色には腕を伏せたような緑の城山。それを守るように流れる吉野川が天然の外堀だったことを示す。眉山の麓に広がる寺町は城下町の名残。今は、吉野川の支流、新町川が城山と寺町の間を流れ、川辺の親水公園は市民の憩いの場となっている。